

教育目標：なかまとともに、進んで学び、たくましく、思いやりのある子どもの育成

細野小学校
学校通信

桜の学び舎 細野小

令和2年度
第10号(2/2発行)

小林市「家族の作文」コンクール表彰

今回は、小林市より表彰のあった「家族の作文」コンクールの入賞者を紹介します。応募総数 1646 点の中から選ばれました。本当におめでとうございます。

また、細野小は「学校賞」にも選ばれました。

最優秀賞 6年 太田知里さん『お父さん いつもありがとう』

(太田さんが全受賞者代表として発表予定でしたが、新型コロナによる表彰式中止となり残念です。)

太田さんは、父親への感謝について、自分自身の態度も振り返りながら、次の2つの感謝を具体例を交えて述べています。

- ① 毎日遅くまで休日も働いている父親への感謝
- ② 家族のために文句も言わず家事をやってくれることへの感謝

そして、いつも頑張っている父親に **心から「ありがとう。」**を伝えたいと結んでいます。



※ この作文を読んだお父さんは、とても嬉しい気持ちになったことでしょう。この他にも、次の4名の皆さんが入賞しました。本当におめでとうございます。

優秀賞 4年 楠田莉央さん『お母さん いつもありがとう』

優秀賞 1年 佐藤叶仁さん『お母さん ありがとう』

佳作 3年 吉元李桜音さん『家族みんなに ありがとう』

佳作 2年 内村莉愛さん『おばあちゃんへ』

平成3年度卒業生の皆様、ありがとうございました。

本年度、厄払いをされました平成3年度卒業生（代表：瀬戸山貴行さん）の皆様から厄払い記念をいただき、本当にありがとうございました。今年度の運動会で活用した折りたたみ式テントを2張り購入させていただきました。今後も大切に活用させていただきます。



49年前からタイムスリップ！石板のプレゼント

本校の体育館前には、49年前に完成した時計台があります。その時計台に取り付ける石板を寄贈しようと、当時のPTAの町浦景信さんが石板を作成しました。しかし、当時は、木板に筆文字で書かれたものが設置されており、タイミングを待って寄贈するはずが、それをしないままに、49年の年月が過ぎてしまいました。

最近になり、慶信さん（景信さんの長男）が、その石板を発見し、49年ぶりに本校に寄贈していただきました。1月28日（木）の出来事です。本当にびっくりしましたし、非常に有り難く感じました。49年前の川原校長先生に時空を超えてプレゼントをいただいたような不思議な気持ちになりました。

※ お二人とも細野小の卒業生です。



町浦慶信さん
昭和38年度卒業生
69歳

町浦景信さん
昭和16年度卒業生
91歳



第22代校長
川原利夫先生
昭和44～47年度

49年前のものです
が、ピカピカの石板
をいただきました。



取付までしてい
ただきました。

